

令和5年度 研究報告

〈研究主題〉

環境に自ら関わり、主体的に活動する幼児・児童の育成

～「遊び」と「学び」をつなぐ幼小の円滑な接続を目指して～



荒川区教育委員会 教育長 高梨 博和

本区は、令和元年度から令和5年度までの5年間、東京都教育委員会における「知識及び技能、認知的な能力の育成に関する取組」の研究開発を行うモデル地区として指定を受け、令和2年度よりモデル園・校である本園・校にて研究を進めてまいりました。

研究に際して、「就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための教育課程の研究・開発委員会」を立ちあげ、子どもの発達の状況や学びの連続性を重視した「5歳児から小学校第2学年までを連続した時期として捉えた指導計画」の作成を研究の核とし、本園・校にて指導計画の内容を踏まえた実践を重ねてきました。蓄積してきた実践事例は大変に価値があり、本園・校の取組を発信することにより各園・校における就学前教育と小学校教育との接続が一層円滑になるものと期待しております。

結びとなりますが、本園園長・本校校長 高田 大 先生をはじめ、真摯に研究に取り組まれてきた教職員の皆様のご努力に敬意を表するとともに、御指導と御助言を賜りました学識経験者の先生方及び委員の皆様にご心より感謝を申し上げ、あいさつとさせていただきます。

荒川区立町屋幼稚園長・荒川区立第七峡田小学校長 高田 大

本園・校では令和2年度より荒川区教育委員会からモデル園・校の指定を受け「就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための教育課程の研究・開発」に取り組んでまいりました。本研究は当初より令和5年度をまとめの年として位置付けており、この度これまでの成果と課題を広くご報告させていただくこととなりました。皆様には御意見、御指導をいただくとともに、本研究を今後の就学前教育と小学校教育との連携・接続の参考として御活用いただければ幸いです。

荒川区立町屋幼稚園
荒川区立第七峡田小学校